



Fig. 1 仕掛け絵本「モンタージュブック」1) の表紙と裏表紙

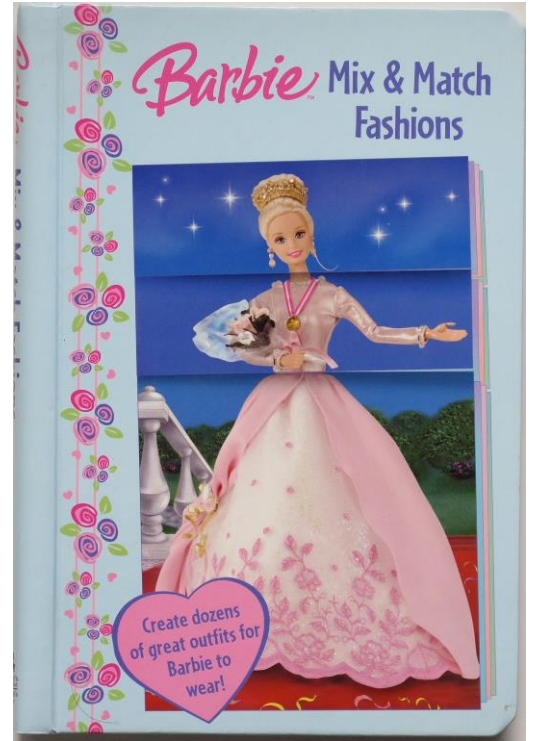


Fig. 4 着せ替え絵本“Barbie Mix & Match Fashions”6) の表紙



Fig. 2 「昆虫ガッタイ」4) の表紙



Fig. 5 ノベルティグッズ「三太郎の暦2017」の外観

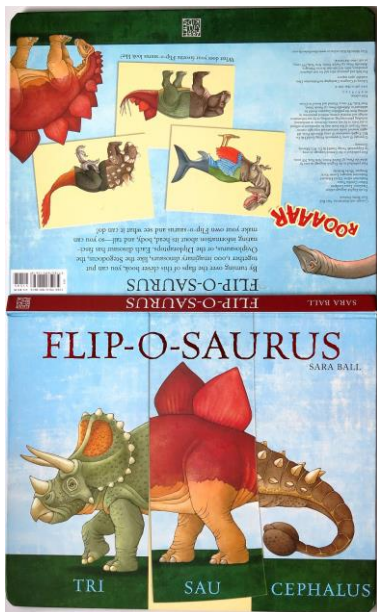


Fig. 3 仕掛け絵本“FLIP-O-SAURUS”5) の表紙と裏表紙



Fig. 6 登場人物の顔のページ

## 口絵解説

## 「画像からくり」

## 第37回 モンタージュ式仕掛け絵本

## 37 The Tradition of Playful Painting in the Edo Period

桑山哲郎

「モンタージュ写真」という言葉から、ある程度年齢が高い方は、目撃者の記憶を基にして作られる容疑者の顔写真が、すぐに思い浮かぶことだろう。今回はモンタージュ写真に関連する、画像からくりの話題をご紹介します。

絵本のページを上部、中央、下部の3つの部分に分割し、それぞれ独立にページをめくると、3つの絵が組み合わされて1つの絵が合成される。この様な造りの絵本は、英語では通例として“Mix and Match”と呼ばれるが、日本では特定の呼び方が定まっていないので、検索をするのには少し不便である。一方、本の作り方に際して、技術的に難しい点や特別なノウハウは不要なので、モンタージュやストーリー展開の他、いろいろな目的でこの仕掛けは用いられている<sup>1,2)</sup>。モンタージュ写真を模した仕掛け絵本はいくらでも見つかりそうだが、私は現在1冊しか所有していない。

Fig. 1をご覧いただきたい。「モンタージュブック」<sup>3)</sup>というタイトルの仕掛け絵本で、シールブックを多数商品化している(株)リーバンの出版物である。表紙の大きな顔は、モンタージュ合成された顔になっている。各ページは頭(髪型と帽子)、目と鼻、口から下の3つの部分に分割されていて、各パーツは6枚あるので、作り出される状態の数は $6 \times 6 \times 6 = 216$ 通りあり、見開きページの左右に配置される顔が432種類作り出される。向かって左の裏表紙に見える12枚の顔の絵は、上中下の3つのパーツを一度にめくるときに現れる顔で、合成の素材である。

Fig. 2は、楽しく学習することを狙いとして出版された「学研の図鑑 あそびブック カブト・クワガタ 昆虫ガッタイダー」<sup>4)</sup>というタイトルの本である。ページが上中下の3つの部分に分かれていることは同様である。学習図鑑のため、昆虫についての解説文が各ページに詳しく書き込まれている。昆虫の名前も3分割され、姿だけではなく呼び名も合成される趣向になっている。16種類の昆虫には番号が付けられていて、表紙の大きな合体された昆虫は以下のパーツから構成されている。14カブトムシの「カ」。08オウゴンオニクワガタの「オニ」。03ナナホシテントウの「テントウ」。合成した結果は「カ オニ テントウ」となる。16種類の昆虫が素材なので $16 \times 16 \times 16 = 4096$ の組み合わせがあるが、そのうち16はオリジナルで合体ではないので差し引き、「4080しゅるいのオリジナル昆虫」という表示が表紙に書かれている。

体を3分割する組み合わせの絵本は、同じパターンで何冊

も出版されている模様である。Fig. 3は、上下方向に開く大型の絵本で、“FLIP-O-SAURUS”<sup>5)</sup>というタイトルである。表紙の下部に書き込まれている名前は、以下から派生している。Triceratopsの“TRI”。Stegosaurusの“SAU”。Europlocephalusの“CEPHALUS”。

この種の絵本で、まず1冊取り上げるなら「これ」と思われる絵本を、最後に紹介する。Fig. 4は、“Barbie Mix & Match Fashions”<sup>6)</sup>というタイトルの仕掛け絵本である。一見して、着せ替え人形体験を絵本化したものであることが分かる。この絵本では、あるストーリー、1つの文章が絵と連動し、合成される趣向になっている。表紙の図柄は、元の図柄から上半身だけを別なシチュエーションに入れ替えている。元の文章は“All heads turn as Barbie makes her grand entrance at the costume ball”であるが、スケート選手がメダルを首から下げている、“Barbie wins a gold medal”が挿入されている。1999年の出版である。

3枚の絵の組み合わせを楽しむ商品は、卓上カレンダーなどで各種見つけることができる。最新の話題として、携帯電話のブランド「au」から2016年末にノベルティグッズとして配布された「三太郎の暦2017」の外観を、Fig. 5に示す。カレンダーとして使用するには、1・2・3月、4・5・6月と3か月を並べてページ構成になっている。Fig. 6では、コマースに登場する5人の登場人物の顔が、半分ずつ現れる。実用的なカレンダーではなく、図柄の変化を楽しむグッズになっている。非売品である。

## 参考文献

- 1) 鏡惟史, “いろいろな絵合わせの本-第3報”, 連載ホビーハウス, O plus E, Vol.32, no.4, アドコム・メディア, pp.471~475 (2010).
- 2) 鏡惟史, “組み合わせ絵本がいっぱい! -第4報”, 連載ホビーハウス, O plus E, Vol.33, no.9, アドコム・メディア, pp.985~989 (2011).
- 3) 「モンタージュブック」, (株)リーバン (出版年不明).
- 4) 「カブト・クワガタ 昆虫ガッタイダー」, 学習研究社 (2008).
- 5) Sara Ball, “FLIP-O-SAURUS”, Abbeville Press, New York, NY USA, (2009), 原著は2009年ドイツ語で出版, Copenrath Verlag GmbH & Co., Münster, Germany.
- 6) Rita Balducci, “Barbie Mix & Match Fashions”, Reader’s Digest Children’s Publishing Inc. (1999)